

防衛省はサイバー分野で何を取り組んでいるの？



サイバー攻撃を受けると、情報が勝手に抜き取られたり、システムの動作を妨害されたりしてしまう可能性があり、**国の防衛に重大な影響を及ぼします。**

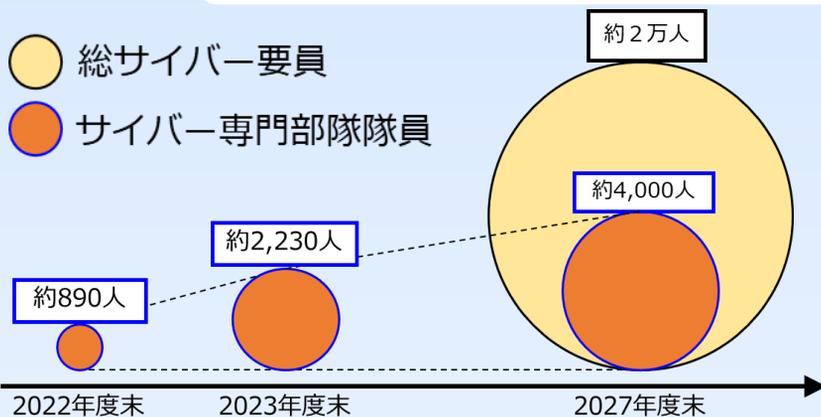
こういったことを防ぐためにも、**サイバー攻撃への対処能力を向上することは非常に重要です。**



こうした中、防衛省・自衛隊においては、以下の取組を行っています。

- 2022年3月に **自衛隊サイバー防衛隊** という専門部隊を設置し、2027年度までに防衛省・自衛隊全体のサイバー専門部隊を **約890人から約4,000人に拡充**
- **サイバー教育基盤の拡充** や **高度な知識・知見を持つ部外人材の活用** を推進
- 情報システムの運用開始後も **常時継続的にリスクを分析・評価し**、必要なセキュリティ対策を実施する **リスク管理枠組み（RMF）** を導入

※Risk Management Framework



サイバー要員の育成

(陸自高等工科学学校システム・サイバー専修コース)